

平成 29 年度

いわての学び希望基金奨学金等受給者から寄附者へのメッセージ

就職者・進学者

高等学校卒業 漁業

奨学金をいただきありがとうございました。

感謝に感謝をしています。母が精一杯自分のために働いてくれたこともありがたいと思っています。今では母をつれて行った海に対して私は海を相手にする職業を選びました。海はやっぱり偉大だと思っています。海は人を育ててくれていると思っています。海が大きな怒りとして生まれた時、人間は何が出来るのだろうか。

海に対して私は、おじいちゃんを想像します。

何も言わない海を見て考え、行動することが人間だと思っています。私は海を見てバーチャンを大切にし家族を育てていこうと考えています。決心しています。海はあまりおこらずに人間を育てて下さい。

僕にもいろいろ教えて下さい。

しっかりと学びますから。

今までありがとうございました！

高等学校卒業 サービス業

寄附して頂きましてありがとうございます。そのおかげで高校も卒業でき、今社会人として働く事ができています。これからも働いて少しずつでも社会に貢献できるように頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

高等学校卒業 小売業

学生生活をより便利に快適な生活を送ることができたのは寄附者のおかげだと思っています。とても感謝しております。ありがとうございました。

専門学校（調理系）卒業 調理師

ご支援いただいた方へ

今までご支援いただき誠にありがとうございます。

ご支援のおかげで無事調理師になることが出来ました。

専門学校を卒業した後、学校給食の仕事をしています。

たくさんの方を笑顔にできるよう毎日ががんばっています。

いつか自分のお店を出せたらと思います。

2年間本当にありがとうございました。

専門学校（医療系）卒業 アパレル産業

いわての学び希望基金奨学金を受給して、支援してもらいとても助かりました。私は医療の専門学校に行くため生活費など助けてもらいました。

私は実際には、医療関係には勤めていませんが、専門学校でたくさんの友人ができ、実習では人への接し方などを学ぶ事ができました。そのため、今の仕事へ生かす事ができ、学校で学んだ事がすべて役立っていないわけではないので学校に行ったことは後悔していません。

高等専門学校卒業 運輸業

東日本大震災発生直後、家庭内、日本社会、様々な変化があり、色々と不安もありましたが、「いわての学び希望基金」という形でご支援いただき、学生時代を有意義に過ごすことができ、現在は一番に希望していた職業で社会人1年目をスタートしたところです。このような形で、不自由なく夢に向かってこれたのは、この奨学金を受給させていただくことができていたためであると考えております。本当にありがとうございます。

4月に入り、就職先の関係上他県での生活がスタートしましたが、その際にも学校卒業にあたり寄附いただいた資金を活用させていただいております。2ヶ月間にわたる新入社員研修を受け、現在は実際の現場へ出向いて働きはじめたところです。

就職に当たっては、当然学校の支援を受けましたが、それに加えて、実際の仕事においても、学校で学習した専門知識や実習内容が活かされる場面が多々存在します。やはり、充実した学校生活を、不安なく送れたからこそ、今充実した仕事ができているのだと思います。まさにこれから夢に向かって頑張っている方もたくさんいるかと思うので、今後もそのような方々へのご支援を続けていただければ幸いです。

また、私はこれから仕事を通して、間接的ながら今後の受給者の方々を支えていく形となります。仕事柄、鉄道の「安全・安定」を守っていくのが使命となります。その仕事に真剣に取り組み、今までのご支援に少しでもお返しできればと考えております。長い間のご支援、ありがとうございました。そして、今後とも、次の世代の方々へのご支援をよろしくお願いいたします。

4年制大学（経済系学科）卒業 事務

私が東日本大震災を経験したのは高校1年生の時でした。高校2年生になるタイミングで被災し、家族を失い家を失い友達も失いつらく悲しい経験を数えきれないほどたくさんしました。そんな中で、全国各地からの支援やボランティアの方たちのおかげでたくさん助けられたこともあります。多くの人に支えられ、助けてもらい今の私があるのだと思います。高校時代から大学4年間までで多くの人と出会い、多くの経験をしました。大学に進学し、地元を離れると決めた時、4年後に帰ってくると決め進学しました。実際に戻ることができ、地域産業に関わる仕事ができ良かったと思っています。約6年前に失ったものは計り知れないけれど、たくさんの方々からの援助のおかげで学生生活を充実して送ることができました。本当に感謝しかありません。私のこれからの人生において少しでも恩返しとなることができたらいいなと思います。本当に多くの方々へ感謝しています。ありがとうございました。

4 年制大学（看護系学科）卒業 看護師

このたびは、東日本大震災により被災した私を含め、多くの児童・生徒を対象にいわての学び希望基金に寄附されたみな様、誠にありがとうございました。

私は、いわての学び希望基金に寄附して下さったみな様のおかげで、大学まで行き、自分の興味・関心のあった看護の勉強をすることができました。

平成 29 年 3 月、私は無事大学を卒業し、春から看護師として働いています。自分が思っていた以上に看護師として働くことは体力がいり、大変だということを日々痛感しております。しかし、毎日辞めようと思わず働くことができているのは、学生時代に支えてもらったみな様のおかげです。

今の生活にも慣れてきましたら、今度は私自身がする立場になりたいと思っています。日々の中で辛いことはこの先何度もあると思います。しかし、東日本大震災を越えるほどの辛さはないと思っていますので、何事にも負けず自分らしく頑張っていきたいと思っておりますので、応援よろしくお願いします。

最後になりますが、本当にありがとうございました。これからも引き続き、被災された児童・生徒等に寄附の方よろしくお願いします。

4 年制大学（政策系学科）卒業 運輸業

高校 1 年生のときに被災し、それから大学を卒業するまでの約 6 年間、いわての学び希望基金奨学金を受給させていただきました。寄附をして下さった多くの方々の支えのおかげで高校時代と大学時代の充実した時間を過ごすことができました。本当に感謝しております。大学では、地域で起きている問題や課題について、様々な学問分野からアプローチし、学びました。最終的には都市地理学の視点から、地元の自治体の復興とその先について卒業論文にまとめることができました。

今年の 4 月から、社会人となり、小さい頃から憧れていた鉄道の仕事に就くことができました。今は、関東で仕事をしています。まだ見習いとして仕事を覚えることに必死ですが、充実した日々を送っています。社会人になり、学生時代とはまた違った楽しさを感じると同時に責任の重みや自立など背負っているものの大きさも感じています。今は岩手を離れていますが、将来的には岩手に戻ってくるので、しっかり力をつけて、成長して帰ってきたいと思っています。私の夢は新幹線運転士になることと、鉄道の力で地元の発展に貢献することなので、その実現に向けても努力して頑張っています。

私自身も支えられる側から支える側になり、今度は後輩達のために協力していきたいと思っています。今まで支援していただき、本当にありがとうございました。

4 年制大学（福祉系学科）卒業 介護福祉

私は今、小学生の時から夢に抱いていた介護の道に無事進むことができ、介護福祉士として働いています。今こうして介護の仕事ができているのも、奨学金を寄附してくださった皆様のおかげで介護の資格が取得できる大学に4年間通い勉強してこれたからだと思っています。新社会人として悩むことや壁にぶつかることも多々ありますが、介護の道に進めた喜びを感じ、皆様への感謝の気持ちを胸にこれからも頑張っていきたいと思います。社会人になるまでの間、私たちの成長をあたたく見守り支援していただき、本当にありがとうございました。

4 年制大学（社会系学科）卒業 システムエンジニア

ご無沙汰いたしております。忙しく充実した日々を過ごす中で、連絡を差し上げることができず、大変申し訳ございませんでした。今年の3月に無事、大学を卒業することができました。「いわての学び希望基金」に御寄附して下さいました方々のおかげで、実りある大学生活を送ることができました。4月からは、IT企業に就職し、新しい生活に戸惑いながらも、日々充実しております。東日本大震災を経験し、社会の役に立てる人間になりたいと思いました。仕事では、まだまだ新米なので、これから長い期間をかけ下積みをして、社会の役に、そして東北の役に立てるよう、精進していきたいです。

4 年制大学（教育系学科）卒業 大学院進学

教師になるという目標を震災後からずっと持ち続けています。自分が経験したことを子ども達に伝えることで、彼らの中にある何かに訴えかけたいという想いからです。しかし、最近になって、新たな想いが芽生えはじめました。それは、恩返しです。現在、自分が夢や目標に向かって努力出来るのは、支えてくれた人達のおかげだと強く感じます。その人達に対して、自分は何をしてあげられるのかと考えると、それは一人前の教師になって、成長した姿を見せることや、教育に携わることによって間接的に力になれるのではないかと回答に行き着きました。その理想に少しでも近づくために、大学院進学を決め、自分の専門分野の知識をより深く、より確かなものにしていきます。容易なことではありませんが、故郷への恩返しのためだと日々努力を重ねています。学部時代はいわての学び希望基金様からの支援のおかげで、何不自由なく生活することが出来ました。まさに名前の通り“希望”でした。知人から教えてもらった言葉で、胸に刻んだものがあります。それは「教えることは希望を語ること、学ぶとは誠実を胸に刻むこと」というものです。この言葉の通り、今度は自分が誰かに希望を与えられたら、と思います。支援して下さった皆様には感謝してもしきれませんが、この機会に心から感謝の意を表します。本当に有難うございました。

高等学校 3年生

皆様が寄附して下さるおかげで私は大学で歴史遺産の勉強ができます。いつもありがとうございます。

多分、皆様とは顔を合わせる事はできませんが、文面で精一杯感謝の想いを綴らせて頂きます。

震災が起きた3月11日、私は小学校5年生でした。まだ幼かった私は母が亡くなった時、うっすらと「ああ、大学は行けないな」と思いました。できるだけ自分が家族の足手まといにならぬよう将来は就職だと無い頭で懸命に考えていました。しかし、顔も声もわからない皆様の優しさ、人情により私は大学へ行く事ができます。本当にありがとうございます。いつか、どんな形でも皆様へ恩返しができるようこれからも精一杯頑張っていきます。本当にありがとうございます。

乱文大変失礼致しました。見ず知らずの私たちへ寄附して下さる優しい皆様がこれからも健康で平和に暮らせることを祈って終りとさせていただきます。本当にありがとうございます。

私は東日本大震災で母を亡くしました。あの日から父と私たちきょうだいは協力して生活してきました。母がいないとこんなに大変なんだということに気づきました。家族で協力するといっても、ほとんどのことは父がしてくれています。私はソフトボールの高みを目指したいと思い高校に進学し、寮生活をしています。私は今、充実した日々を送っています。毎日厳しい練習を行い日本一を目指しています。背中を押してくれた父にはとても感謝しています。

私の夢は看護師になることです。私は震災のとき何もできませんでした。誰も助けることができませんでした。私は看護師になって誰かの役に立ちたい。助けることのできる人間になりたいと強く思っています。将来は地元に戻り、地元の病院で働きたいです。沿岸部の復興に向けて少しでも力になりたいです。

私が高校生活を送り、大学進学を志望できるのも父や周囲の人々の支援があるからだと思います。「いわての学び希望基金」の寄附者の皆様には本当に感謝しています。私以外にも「いわての学び希望基金」に助けられている高校生はたくさんいると思います。皆様のあたたかい支援にこたえられるよう日々努力していきます。

私たちを支援していただき、ありがとうございます。

高校3年になり、学習、部活動どちらも集大成の年となりました。

今、特に力を入れていることは、部活動の野球です。夏の大会に向け、甲子園目指して毎日チームメイトと支え合いながら、全力で頑張っています。

また、受験本番の年となりました。近い将来自分が持つ職業の大事なステップとなる大学進学なので、時間を大切にしながら、日々の学習を頑張っていきたいと思います。

「いわての学び希望基金」に寄附していただき、本当にありがとうございます。寄附して下さった方々のおかげで、私は今、学習や部活動など様々な学校活動を満足して行うことができ、楽しい高校生活を送ることができています。また、私は大学進学を考えているのですが、奨学金により、大学の入学金や授業の事を心配して大学の選択肢を減らすこともなく、自分の進路実現に向かうことができています。教科書購入費等給付事業や、運動部・文化部活動支援事業など、様々な支援事業のおかげで部活動の遠征や授業に必要なものの準備の際に、とても助かりました。本当にありがとうございました。

私は、現時点で東京大学文科3類を第一志望として進路達成に向けて勉強をしています。目標はとて高い学校なので、人並み以上の努力をする必要があると思っています。私はまだ部活動を引退していないので、少し大変ですが、勉強と部活動の両立に取り組んでいます。朝早く学校に来て授業を受けたり、部活動終了後、学校に残って自主学習をしています。これからさらに勉学に励み、第一志望に合格できるように頑張りたいです。

私は今、充実した高校生活を送っています。

先日、授業の一環として学校の近くの保育園で園児との交流会が行われました。私はクラスメイトと共に園児達の前で演劇「桃太郎」を披露しました。この演劇は、全て自分達が一からセリフを決めて作ったもので、普通の「桃太郎」とは異なり、物語の中にわざと間違いを入れてそれを園児達に探してもらうという少し工夫を凝らした作品になっています。練習が不十分のまま交流会当日を迎えたので、上手く発表できるか不安でしたが、無事に自分達の演技をやり遂げることができとても安心しました。また、園児達も自分達の演技に喜んでくれたので嬉しかったです。交流会は皆のおかげで成功に終わりました。

今後も、クラスマッチや文化祭など様々なイベントが残っています。勉強と両立しつつ、これらのイベントを盛り上げていき、最後の高校生活を良いものに飾りたいです。

初めに、今まで「いわての学び希望基金」に寄附するという形で私達を支えてくださりありがとうございます。「教科書購入費等給付事業」や「運動部・文化部活動支援事業」など、特に后者では、経済面の安心が持たため、プレーに全力で打ち込むことができたと思っています。

現在、進学を考えていて、高校1年生の時から志望していた体育系の大学を目指し、勉強、間に運動を入れてキャンパスライフを夢に見ながら、努力しています。

皆様の支えもあり、先日行われた高校総合大会で、惜しくも負けてしまいましたが、長かったテニス人生に悔いを残さず終えることができたし、後輩にも自分達の思いも引き継ぐことができ、とてもいい形で引退することができました。

目標は、1人で育ててくれた母への恩返しを込め、立派な人間になることです。

寄附していただいたことに本当に感謝しています。また、勉強へ取り組む力となりました。

私は進学を考えているのですが、このことを忘れずに進路に向けてこれからも勉学に励んでいきたいです。

また、将来は社会に貢献できるような人になっていけるよう頑張っていきたいと思います。

私は大学に進学して機械工学を学びたいと思っています。小さい頃からものを作ることが好きで、中学の頃には銅とアルミで電池を作ってみたりしました。テレビでロボットバトルを観たときは、自分だったらどんなロボットを作るか、どう工夫するかなどと、考えを膨らませながら楽しんでいました。私は、機械工学の「発想をそのまま形にできる」点に強い魅力を感じています。

震災で私の生活は一変してしまいましたが、こうして何の心配もなく将来への希望を語るができるのも、基金とそれを支えて下さっている沢山の皆様のおかげであると感謝しています。また、身近な周囲の人々からも支えて頂き、心も体も健康に成長することができました。

将来、私の研究していくことが人の役に立てるような日が来たそのときは、支えて下さった皆様へのお返しになるのではないかと思います。

私は東日本大震災の影響で家は流され、父と祖父、祖母を亡くしました。唯一の稼ぎ人であった父を亡くし、母と兄、弟と私の四人で暮らすことになり、当時小学生であった私は大学に行くお金はもちろん、生活していくお金はあるのかなど、経済的不安を抱えることになりました。

しかし、「いわての学び希望基金」のおかげで大学進学のための資金を貯蓄することができ、安心して勉学に励むことができています。もし、大学に進学することができたら、自分の興味のあることについてたくさん学んでいきたいと思っています。そして、将来では学んだことをかてに社会に貢献していきたいと思います。

今こうして、将来に対して前向きな気持ちでいられるのは寄附者の方々のおかげです。本当に感謝しています。ありがとうございます。これからも、一生懸命勉学に励み大学に進学できるようがんばりたいと思います。

今までたくさんの支援をいただきどうもありがとうございます。自分は硬式野球に所属しています。去年の春には、甲子園へ行き様々な形で寄附を頂きました。甲子園では、地元の方々へ勇気を与えられるようにプレーしてきました。しかし、甲子園に選ばれたのは、21世紀枠の被災地だったからで、実力で行ったわけではないです。だから今度は実力で掴み取りたいです。我々野球部は地元への恩返しを使命として、活動しています。少しでも我々のプレーで感謝を体現出来たら、嬉しいです。もちろん勉強も怠ることなくやっていきたいです。自分は将来教師となって働きたいと思うので大学に進学したいと思っています。でも今の成績では到底及ばないので日々コツコツと文武両道でやっていき、奨学金を受ける価値のある大人に将来なりたいと思います。様々な面で支えて頂き本当にありがとうございます。

この度は、いわての学び希望基金に寄附してくださりありがとうございます。

私は、東日本大震災で自宅が全壊し、母、弟、祖父、祖母を亡くし父と二人の父子家庭で生活しています。現実的にも精神的にも立ち直るには時間が掛かりましたが、今は将来に向けて勉強と部活動を頑張っています。

経済面での負担が少なく、広い視野で進路を目指して学業に専念できるのも寄附者様の支援のおかげです。寄附していただいた皆様のためにも頑張っていこうと思います。本当にありがとうございます。

寄附者のみなさま、私達に多大な寄附をしてくださり、ありがとうございます。そのおかげで、私は毎日楽しく学校生活を送ることができています。私はすでに部活動は引退しましたが、これまでソフトテニス部の部長として活動してきました。「団体戦県ベスト8」を目標に、日々の練習をしてきました。最後の大会でその目標を達成することはできませんでしたが、これまで頑張ってきたことを本番でしっかり思い出し、良いプレーもできたので、すがすがしい気持ちで締めくくることができました。

また、私は今国公立大学への進学を目指して、学習しています。中学校とはレベルの違った問題や授業内容に、初めは驚きましたが、一つでも多く理解し、吸収しようという気持ちで、今では授業を受けています。

私は東日本大震災で家を流されてしまいました。そのせいもありお金をより大切にしようという気持ちになりました。そのような中で、こうして寄附を続けてくださるみなさまには、感謝の気持ちでいっぱいです。応援して下さる方のためにも、日々の生活をより良いものとするため努力していきたいと思えます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

東日本大震災により、自宅を流され現在も尚、仮設住宅で生活しております。高校に入学し、部活動は陸上部へ入部して、3年間頑張りました。

部活動の中で、内陸への遠征や、大会の度にありがたく寄附金を使わせていただきました。陸上で欠かすことのできないトレーニングシューズ、スパイクも一足ではもたなくなったりと、どうしても購入しなければならなかったりと、本当にありがたく思いました。私は、今回この寄附金の援助をしてもらったことにより震災前までの生活の仕方と今の生活の仕方を比べ改善し見直していこうと考えるようになりました。節電節水はもちろん、その商品が本当に必要な物であるのかを考えて物を買うようになりました。

高校3年生となった今、進学に向けて勉強を重視していくことは当然ですが、今まで支援してくださった方々に感謝の気持ちを常に持ち、助けられた分、自分も助ける人になれるようこれから頑張っていきたいと思えます。

また、寄附者の皆さんにお礼の気持ちを込めて、自分の将来人の役に立てる職業になりたいと思えます。人のために何かできることは、本当に素晴らしいことであり、お互いに嬉しい気持ちになります。私はその喜びを得るためにも何事にも諦めず全力で取り組みたいと思えます。

寄附者の皆さんのように私も未来の立役者となれるよう精一杯努力します。

今まで本当にありがとうございました。

いつも、寄附していただきありがとうございます。

今までの高校生活で頑張ったことは部活動です。私は、バスケットボール部のキャプテンをやり、チームに支えてもらいながら最後の高総体を終えることができました。悔いの残る試合でしたが気持ちを切りかえて、進学に向けて頑張ろうと思えます。進学するにあたって金銭面の不安が少ないのは、寄附していただいている方々のおかげです。本当にありがとうございます。

この度は、いわての学び希望基金にて寄附をしていただき誠にありがとうございます。このお金は、進学資金に使わせていただきたいと思います。これからも希望する進学先に進めるよう頑張りたいと思えます。

私は東日本大震災で父親を亡くし、祖母と2人で暮らしています。皆さんからの支援がなければ今ごろ私は大学への進学を考えていませんでした。

私の目標は大学へ進学し、学びを深め、再び地元へ戻って就職することです。大学では現代社会の様々な問題を解決していくための力を身に付け、地域復興・発展に具体性を持たせることができる人材になりたいです。そして、地元に戻った時にたくさんの人に来てもらって地元を元気にするイベントなどを行い、町興しの重要な担い手として活動していきたいと考えています。

今は、その目標に向かって勉強を頑張っています。部活動は最後の大会を終えて引退し、その時間も勉強にあてています。友人とも楽しい時間を過ごし、充実した学校生活を送っています。

充実した今の生活があるのも、支援してくださっている皆さんのおかげだと日々感じています。今、私は前向きに頑張ることができています。そうした“今”を提供してくださり、本当にありがとうございます。

私達のために、奨学金を寄附していただきありがとうございます。

私は今、将来看護師として地元に戻って働くことを目標に勉学に励んでいます。高校卒業後は、県内の大学へ進学したいと考えています。そのために部活動だけに偏らないように、しっかり勉強しています。

また、私は現在ライフセービングという人命救助に携わる活動をしています。それは、震災でたくさんの方の命を奪った海を自然災害以外での死者を出したくないという思いから始めたものです。津波を見た私にとって海で人の命を救うという活動はとても勇気がいることで最初はとても海が怖く海と向き合うことすらできませんでした。ライフセービングを始めて4年経った今では、海と向き合うと決心し、海辺での事故防止に務めています。そして、ライフセービングの全国大会へも4度出場し、全国のたくさんの仲間と競い合うことができ、自分にとってとても自信ができました。

私がこうして今、元気に学校に通い部活動に参加し、たくさんの仲間とライフセービングができることは奨学金を寄附して下さっている皆様のおかげです。本当に感謝しています。

文面でのみの活動報告及び感謝の言葉となってしまいますが、私が今勉強や部活動を頑張ることが今できる一番の恩返しだと思っています。

本当にありがとうございました。

私は父が東日本大震災で亡くなり、収入が母の仕事になり、金銭的に少し厳しい状況でした。

そんな中、このいわての学び希望基金からの奨学金を受け、勉強を心おきなくできるようになりました。

これまでは高校を卒業したら就職するつもりでしたが奨学金のおかげで進学への心配がなくなり、自分の夢に向かって勉強することができるようになったので、夢を叶えるために進学し、努力を続けたいと思います。

そして夢を叶えた後は、私達のような子供達に支援をしたいと考えています。

これからの人生に新しい道を開く手助けをしてくださった方々への感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思います。

寄附をくださった皆様、本当にありがとうございました。

いつも、手厚いご支援ありがとうございます。おかげで、いつも安心して楽しい学校生活を送ることができています。

学校では、今年度第1回目の定期考査が終わりました。私は推薦入試受験を考えているので、今回と次回の前期末考査の2つが3年生の成績として大学に送られるそうなので、非常に大切なものになります。私は岩手県内の大学か宮城県にある大学に進学しようと考えています。ただ、父からは「どこの大学に行ってもいいぞ」と言われているので、今のうちにしぼらず、オープンキャンパスに行ったり、資料をとりよせて、選択肢を広げていきたいです。

大学卒業後は、地元に戻って公務員として働きたいと思っています。震災を経験して分かったことや、今年の1月にアメリカに行って見て感じたこと、そして大学で学ぶことを、これからの地元で反映できるようにしたいです。

まだしばらく支援をうけることにはなりますが、みなさんへの感謝の気持ちを忘れず、1日1日を大切に生活していきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

奨学金をはじめ、教科書購入費や部活動の面まで支援をしてくださって本当にありがとうございます。おかげで私は学校で勉強し、思いっきり部活動をすることができました。

私は5月の末に部活動を引退しました。3年間がんばってきて本当に良かったです。部活動を通して学んだ社会の中での生き方をこれからの生活に生かしていきたいです。部活動を引退したのでこれからは今まで部活動に費やしていた時間をどのように有効に使うかを考えたいと思います。少しずつ受験生としての自覚が出てきて、進路を実現させたいという気持ちが大きくなっています。私は将来栄養士になりたいと思っています。そして大学を卒業したら地元に戻ってきて就職したいと思っています。栄養士という仕事を通してたくさんの人と関わり、ひとりでも多くの人を健康を支えていけるように、大学でも一所懸命に勉強に励みたいです。

皆さんの支援がなければ私はここまで充実した学校生活ができなかったと思うので本当に感謝しています。私は支援してくれている方々の期待に応えられるように挑戦することをためらわないで、これからも精一杯がんばっていききたいです。

私は国公立大学へ進学を希望しています。理由としては、親にあまり負担をかけたくないからです。国公立大学は私立大学に比べて、受験科目も多く、センター試験二次試験があり、簡単には合格できませんが、人並み以上に努力して合格したいです。受験者に与えられた時間は平等です。その中で、他の受験者より点数をとるために時間を上手く使いたいです。具体的にはスキマ時間を使って人よりも多く勉強できるようにしたいです。

私は大学で経済学を学びたいと思っています。お金は社会を豊かにすることもできますが、その逆も考えられます。お金がたくさんあるからといって必ずしも幸せであるとは限りません。むしろ、平均的な収入で幸せを感じる人のほうが多いように感じられます。私は社会を豊かにするために仕事をしたいです。そのために、社会が豊かであるということは、具体的にはどのようなことなのか、それを学び、見つけていきたいと考えています。寄附していただいた方々がどのような気持ちで寄附したのか、それを忘れずに、これから過ごしていきたいです。

この度は、ご支援ありがとうございます。

私は、6年前の東日本大震災で父、弟、祖母や自宅等を失いました。何もかも最初からのスタートで学校に通うのも大変でした。母子家庭になってしまい大変でしたが、皆様のご支援のおかげで周りの人と同じように、何不自由なく生活出来ています。

また私はソフトテニス部に所属していました。部活動で必要なラケット、シューズ、ウェアなどの費用にあてさせていただきました。

私は、高校卒業後、調理の学校に進学したいと思っています。小さいときから料理をすることが好きなので、たくさんの人たちに食べてもらいたいです。料理の仕方や基本を学び、将来は自分の店を持ちたいと考えています。

これからも感謝の気持ちを忘れず、夢に向かって頑張っていきます。

大震災から6年が過ぎ、私は高校3年生となりました。父を失ってなお、今まで何不自由ない恵まれた生活ができているのはご支援をいただいている皆さま、事務局の皆さまのおかげです。本当にありがとうございます。

現在、私は獣医になるという夢をかなえるために奨学金の助けを借りて塾に通っています。自分のために好きな勉強ができるというのは本当に楽しく幸せなことです。震災当時学校にも満足に通えなかった時期を考えると皆様に感謝してもしきれません。震災は天災であり、父が亡くなったのは自分ではどうすることもできないことで、ただただ悲しくむなしく日々を過ごしていました。そんな私を支えてくれたのが勉強でした。知らないことを知るのが楽しく、成績が上がっていくのが何よりの喜びでした。震災は私から多くのものを奪っていきました。しかし、一方で震災から学んだことも多くあります。自分のために悩んで苦しむことができることがいかに幸せであるか、というのもその一つです。いま、大学進学という人生の初めての岐路に立ち、その幸福をますます感じています。私は皆さまが可能にしてくれた多くの選択肢を無駄にはせず、自分がやれること、やりたいことを見つけるために苦しみぬきます。そして私が学んだことの中から世の中に役に立つこと、助けになることを見つけていきたいと思っています。

私は、たくさんの方々の支援のおかげで金銭面で悩むことなく進路実現させるため日々頑張ることができています。

高校卒業後は、大学に進学し経済学部で学びを深めていきたいです。

将来の夢はまだ具体的に決まっていませんがサービス業に興味があるのでサービス業を通して地域貢献をしていきたいです。

応援、支援してくださっている方々の期待に応えられるように高校在学中は所属している部活動であるレスリングと日々の学習を両立し心身共に強い人間になれるように頑張りたいです。

今回は、いわての学び希望基金にて寄附をしていただき本当にありがとうございます。

このお金は進学に使わせて頂きたいと思います。この経験を忘れずに、私も大人になった時、困っている人に手を差し伸べられる人間になりたいと思います。

この度は寄附していただき、本当にありがとうございます。

これから夢を実現するための進路を選択しなければなりません。

震災から6年以上経過した今、地元の町は復興に向い、頑張っています。震災を経験した私たち若い世代がこれからの復興に貢献していかなければなりません。そのための第一歩として今、私たちが迎えている進学、就職の道です。

振り返ってみると、震災直後から、今にいたるまで、様々な人に支えられてきました。それは何で恩返し出来るか考えた時、やはり自らが中心となり、地域の復興に携わる事だと思いました。

私は将来、工業の道に進もうと考えています。そのためには専門学校へ進学し、そのため知識をつけようと思っています。そのための費用を支援していただく事が出来て、うれしく思っています。

未来の事だけでなく、今からの勉強も頑張りたいと思います。

この度は本当にありがとうございます。

この度は、奨学金を寄附していただきありがとうございます。

私は、東日本大震災で父を亡くし、母子家庭となりました。震災直後はこれからの生活がどんな風になっていくのか想像が出来ず、とても不安な気持ちになったのを覚えています。しかし、たくさんの方々に支援していただき、現在は何不自由ない生活を送ることができています。

私は今、部活動を引退し、進路実現に向けて勉学に励んでいます。将来は理学療法士になりたいと考えています。私が自分のなりたい職業の勉強をするために進学できるのは、6年経った今でも、支援をしてくださる皆様のおかげです。

今後は、志望する大学に進学するために、皆様への感謝の気持ちを忘れず、更に勉学に励みながら、残りの高校生活を充実させたいと思います。

本当にありがとうございました。

私は高校1年から本年までの3年間、「いわての学び希望基金」を受けさせて頂きました。

私事ではございますが、お陰様を持ちましてこれまでの高校生活を無事に過ごせて参りました。

この3年間「いわての学び希望基金」の名に恥じぬよう、及ばずながら学業に学校生活にと全力を尽くして参りました。振り返ってみると、至らない部分もありましたが、自分なりに有意義な実り多い学生生活を過ごせてこれたと思います。

こうしてつつがなく学生生活を送れてこれたのも皆様のご支援のお陰と、私は勿論、家族一同感謝の気持ちで一杯であります。

経済不況が言われる中、変わらず支えて下さった皆様、そして支援業務に携わって下さった全ての皆様に心から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

卒業後、関東で公務員になろうと思っています。こうして私を支えて下さった皆様へのご恩と感謝を忘れず、「いわての学び希望基金」を受けた者として恥ずかしくないよう、より一層精進して参りたいと思います。皆様におかれましては、益々のご発展をお祈りしつつ御礼の言葉とさせていただきます。

「いわての学び希望基金」のみなさん、奨学金を寄附してくださってありがとうございます。私は短期大学進学を目指しています。私の将来の夢は公務員なので、自分の夢のためには、経営情報を学ぶべきだと考えたからです。短期大学合格のためにも、試験科目である「小論文」を特に力を入れて頑張ります。

私は、小学5年生の時に東日本大震災で、自宅と父を亡くし、避難所生活をしてきました。そこから、色々な方々の支援やボランティアに支えられ、今の生活があります。

現在、高校3年生となり、私は進学を考えています。たくさんの方々の支えを受け、本当に感謝しており、自分も将来は人の為に何か出来る仕事に就きたいと考えています。

いわての学び希望基金は、大学進学のために利用させていただきます。本当にありがとうございます。

震災から6年の年数が経ちました。当時は小学5年生だった僕も今は、高校3年生になりとても長い年数が経ったなと感じました。背丈も伸び体重も増え6年前と比べ大きく成長しました。数多くの支えがあり、ここまで生活してきましたが特にこのいわての学び希望基金には経済的にも助けられました。そうして、支えられながら生きてこられた僕は今年で高校を卒業することになります。僕は今、就職を考えていて、4月からは独り立ちしたいと考えています。今まで世話をしてくれた母とは別れ生活することになるかもしれませんが、僕が母や家族を養っていけるように精一杯頑張りたいと思います。最後にこの6年分と同じ価値の物は送ることはできませんが、6年分の感謝を言いたいと思います。この6年間僕達に自分の夢に向かい生活できる希望を与えてくれてありがとうございました。

地元を離れ下宿しながらの高校生活も最後の学年となりました。高校生活の中で私は部活動に力を入れてきました。吹奏楽部に所属し毎日厳しくも充実した日々を送っています。部の成績としては吹奏楽コンクール東北大会出場、マーチング全国大会出場など全国大会出場を目標に、日々部活動に取り組んでいます。今年の2月にソロコンテスト東北大会で自分の思うような演奏が出来ずに本当に悔しい思いをしました。自分の実力のなさを知り、全国大会出場への壁を実感しました。この悔しさを忘れずに座奏でもマーチングでも上へ進み、多くの人々に感動を送りたいです。

また、今年は受験を控えています。保育士だった母への憧れもあり、私も同じ道に進もうとしています。部活動でもそうですが「楽」をして上に行ったりいい思いをしたりすることは何にもなりません。だから私は嫌な事、苦しい事から逃げたりあきらめたりせずに、これからも部活や進路へ向けて進んでいこうと思います。

ご支援いただきありがとうございます。

このたびは、支援金を頂戴し、恐縮いたしております。

寄附者さまからの支援金をもとに進学や就職のため学校の勉強に力を入れ、より一層の努力を心がけ取り組んでいきたいと考えております。本日は、誠にありがとうございました。

いわて学び基金にたくさんの寄附をしていただき、本当にありがとうございました。私も3年生に進級し進路を実現させるために、勉強を頑張っています。進路も具体的に決まり、さらに勉強を頑張っていきたいと考えています。そして、震災から、7年目が経ち、今も完全には復興しているとは言えません。しかし、少しずつ、元に戻っていると思うので、うれしいです。今こうして何も不自由なく、生活できているのはいわて学び希望基金を寄附していただいたみなさんのおかげだと思っています。本当にありがとうございました。これから何度も悩んでしまうことがあっても色々な人から支援をしていただいていることを忘れずに生活していきたいと思います。そして進路を実現できるように、これからも勉強を頑張っていきたいと思います。支援していただき本当にありがとうございました。

自分でお金の管理をするようになったのと、バイトを始めたことでお金のありがたみ、大切さを知りました。高校に通えるだけのお金を稼ぐのはとてもとても大変だと思います。奨学金がなければ高校に通うことはできなかったと思います。

本当に感謝しています。

私は大学へ進学しようと思っています。

高校に通えていなければ、大学へは進学ができないので、寄附していただけたことを忘れず、受験に向けて頑張ろうと思います。

本当にありがとうございます。